

経営比較分析表（令和3年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東第1駐車場

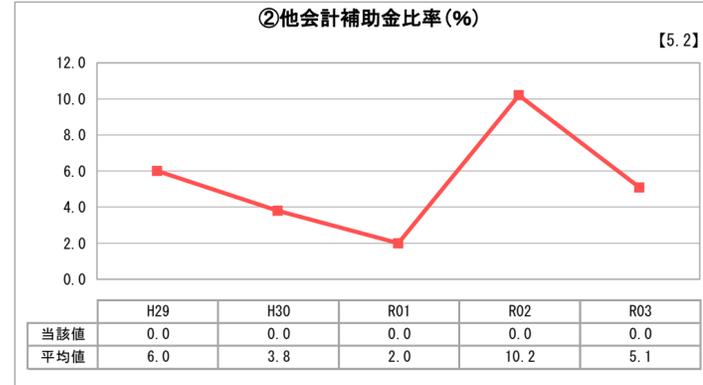
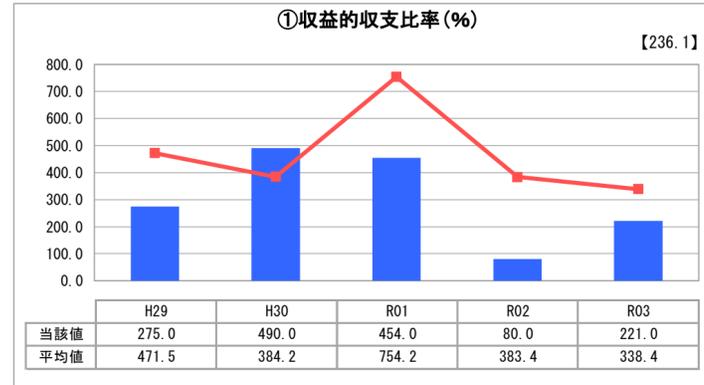
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	22	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,152
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
97	300	無

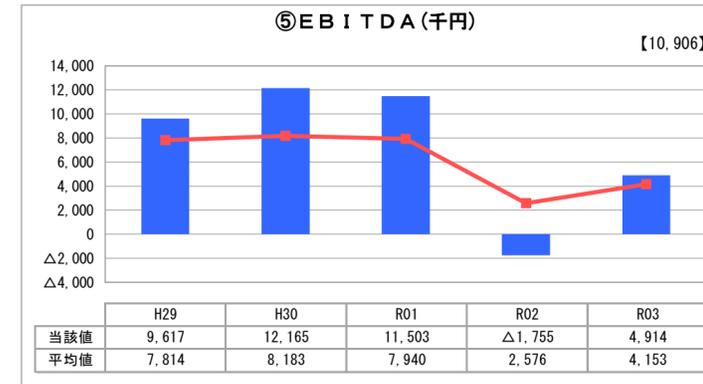
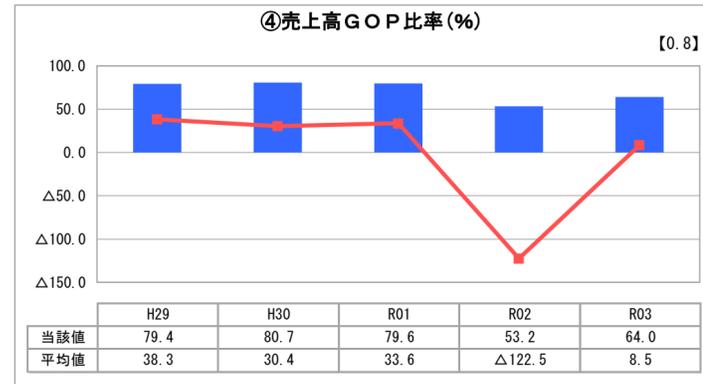
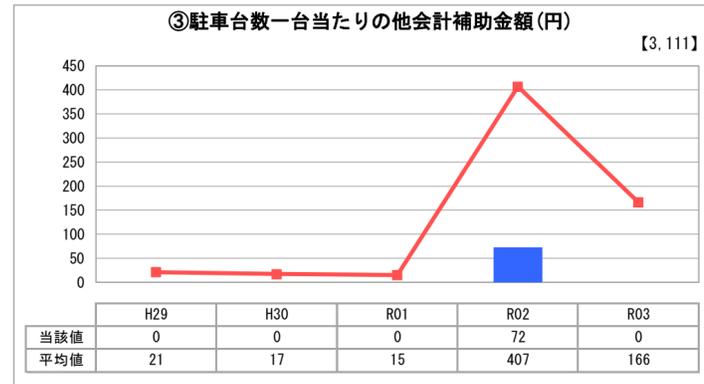
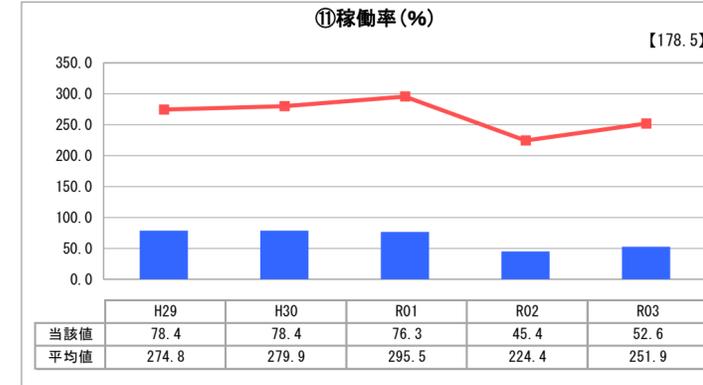
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

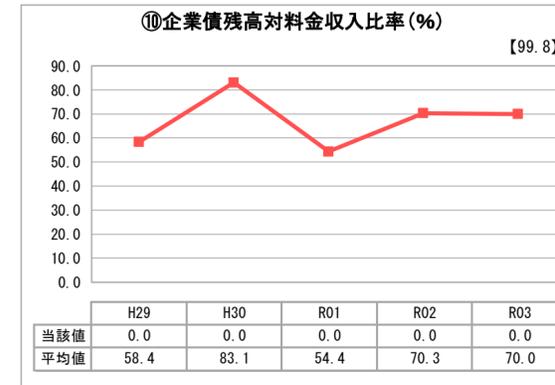


⑦敷地の地価(千円)

24

⑧設備投資見込額(千円)

300



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は100%を上回っており、経営は安定している。
 ②③他会計補助は受けていない。
 ④売上高GOP比率は、類似施設平均値を上回っており、安定している。
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は、類似施設平均値を上回っている。しかし、新型コロナウイルスの影響による収入減少のため以前の水準を大きく下回っている。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れは行っていない。

3. 利用の状況について
 稼働率は類似施設と比較して低い数値である。要因として、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低いことが考えられる。

全体総括
 新型コロナウイルスの影響があった令和2年度と比較し駐車場の利用者数は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も歳出減の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅前駐車場

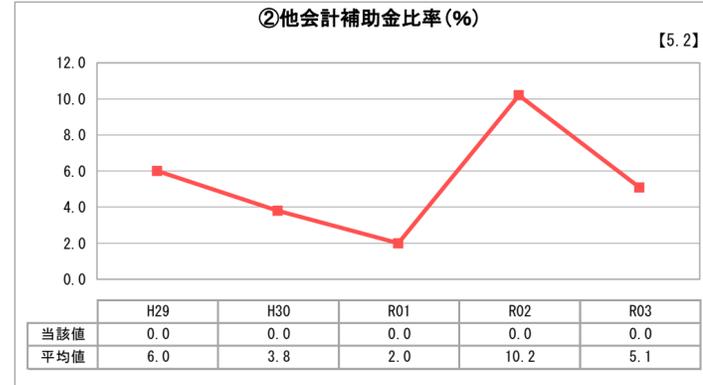
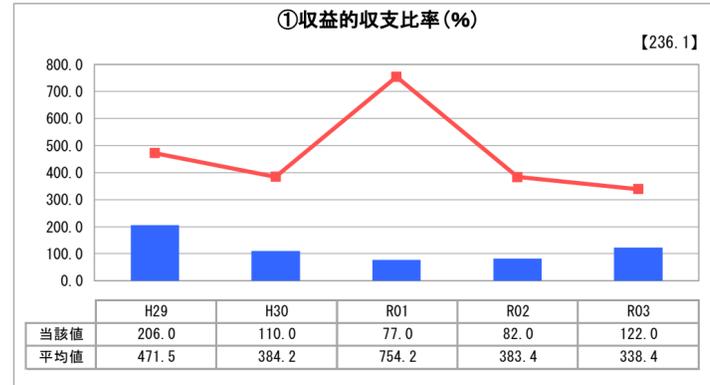
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	901
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
31	100	無

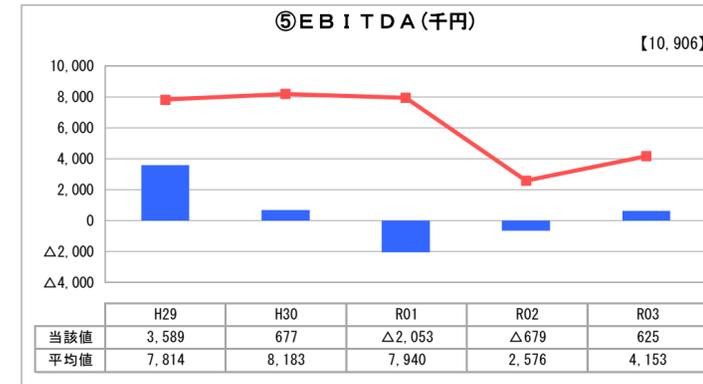
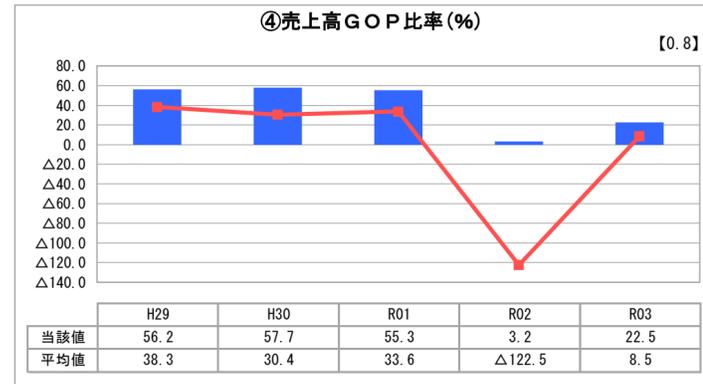
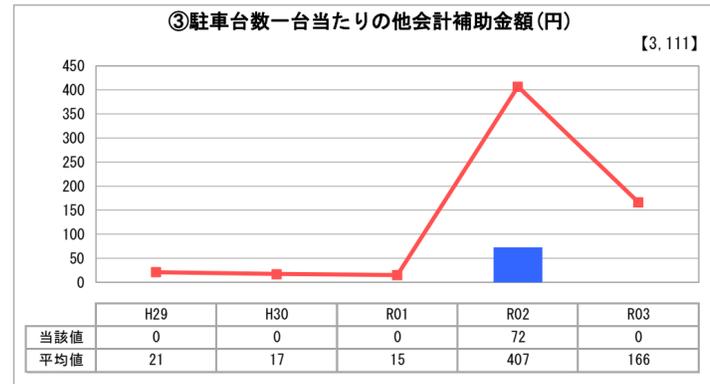
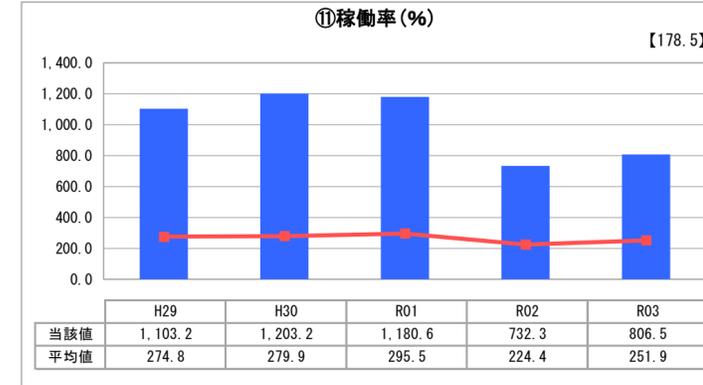
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

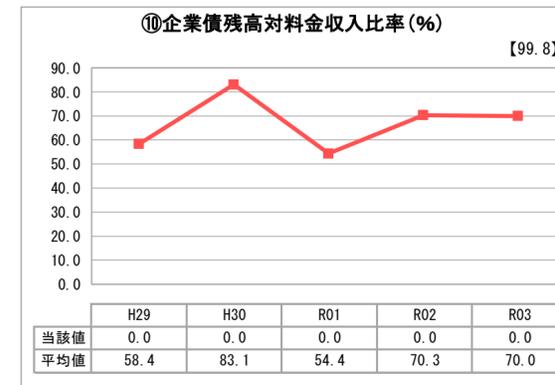
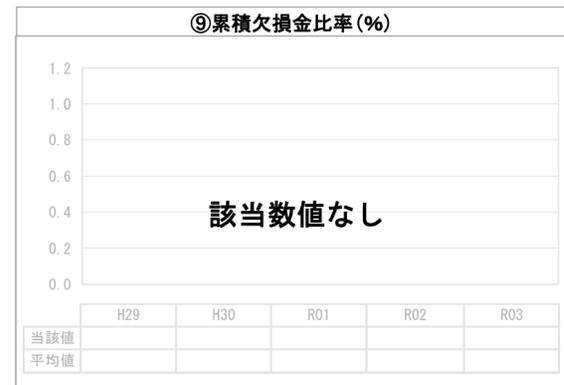


⑦敷地の地価(千円)

30

⑧設備投資見込額(千円)

300



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は、平均値を下回っている。要因として、最初の1時間を無料とし、その後1時間ごとに100円の料金体系を取っていることと、ほとんどの利用者が短時間利用であるため、収益が少ないことが考えられる。
 ②③他会計補助は受けていない。
 ④売上高GOP比率は、類似施設平均値を上回っている。
 ⑤EBITDA（減価償却前営業利益）は類似施設平均値を下回っている。要因としては、①の理由による収益が少ないことが考えられる。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れは行っていない。

3. 利用の状況について
 ⑪稼働率は類似施設と比べ高い水準で推移している。要因として、1時間の無料時間を設けており、駅および周辺施設の短時間利用が挙げられる。

全体総括
 新型コロナウイルスの影響があった令和2年度と比較し駐車場の利用者数は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も歳出減の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

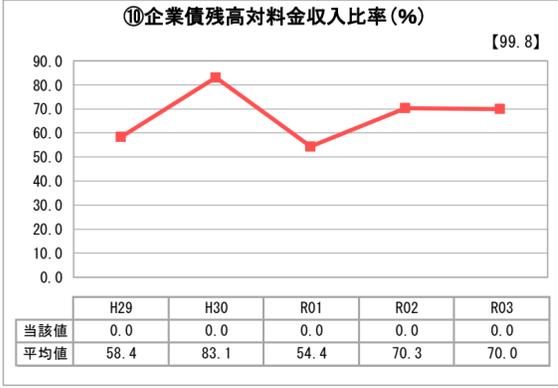
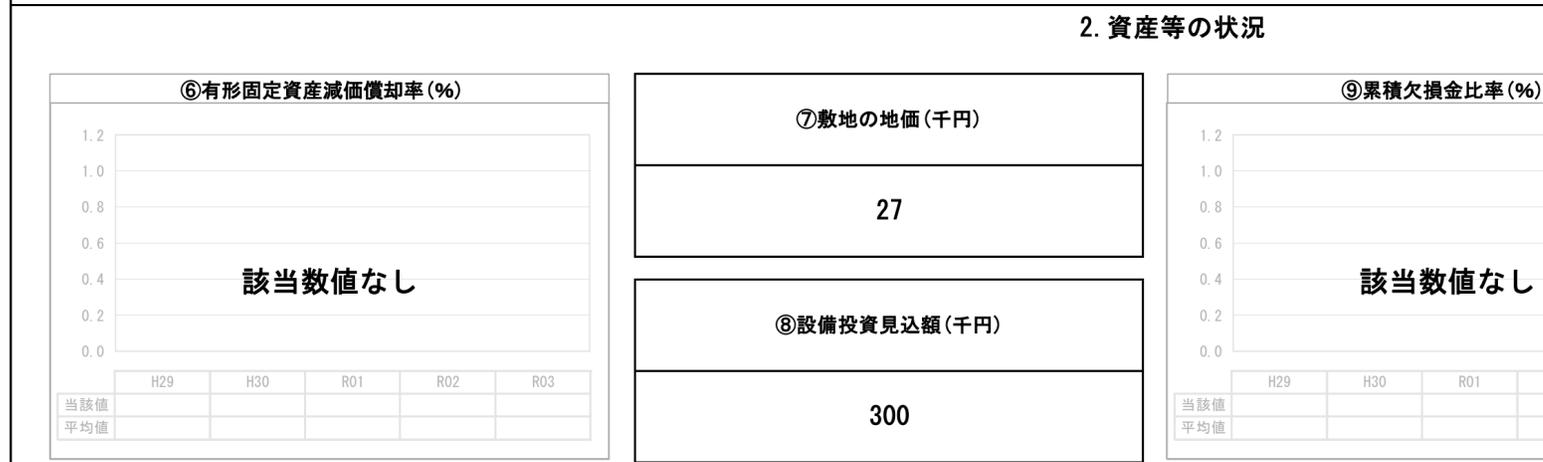
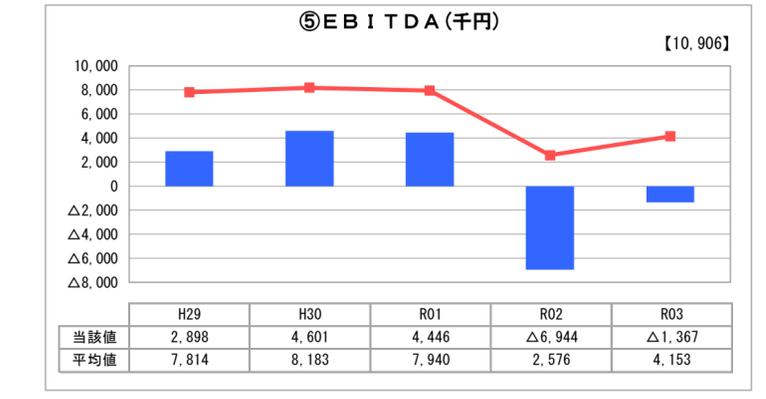
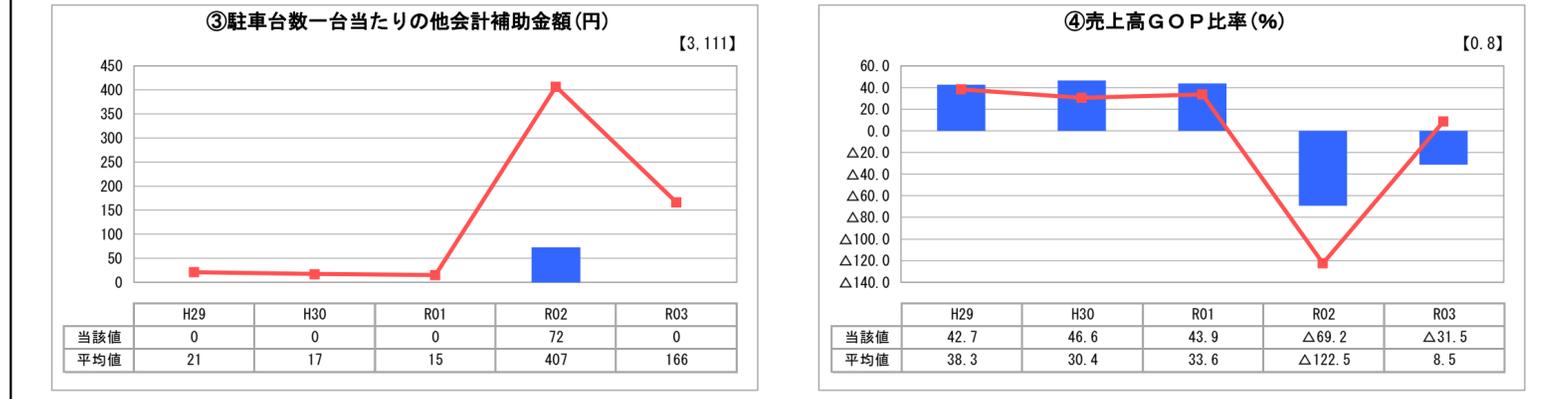
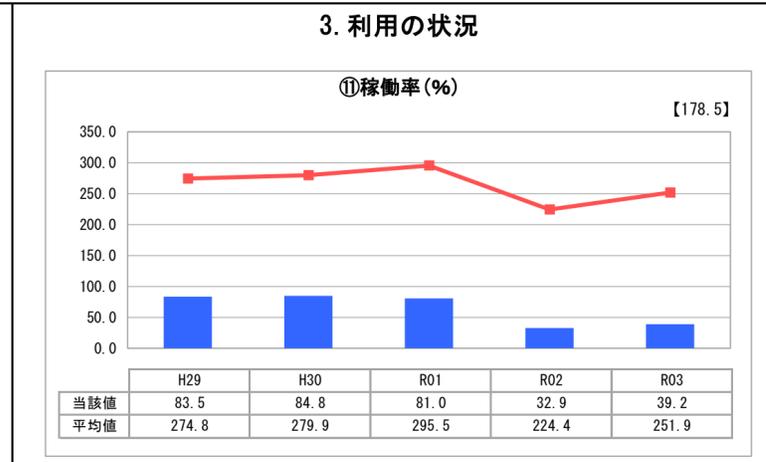
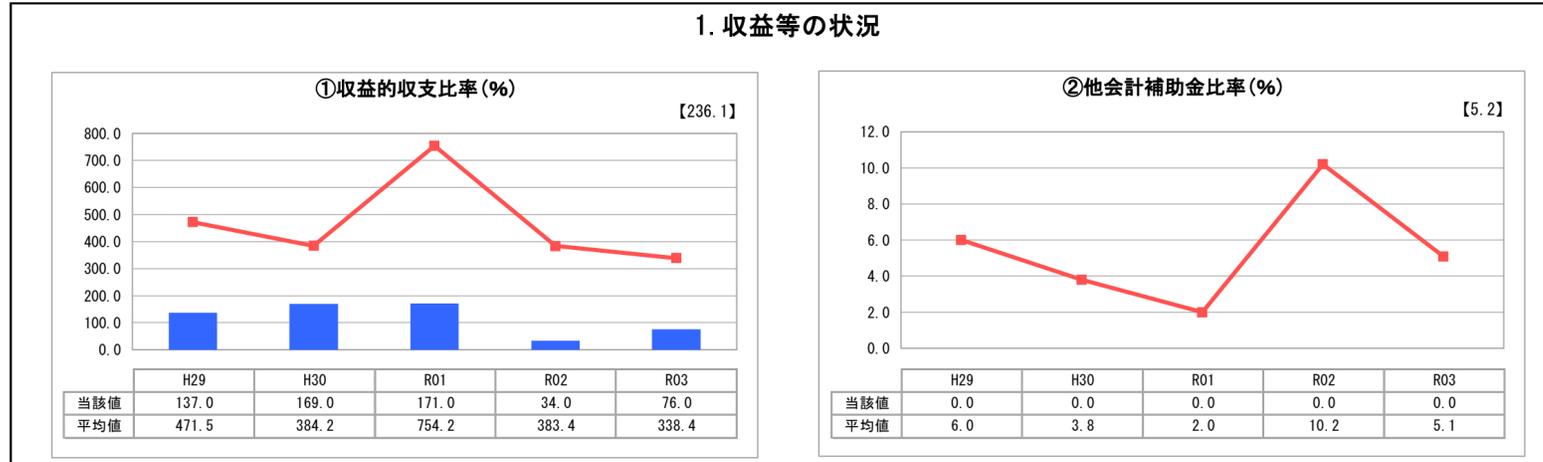
福井県鯖江市 鯖江駅東第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	22	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,764
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
79	300	無

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

①新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少から、収益的収支比率は100%を下回り赤字となっている。

②③他会計補助は受けていない。

④売上高GOP比率は、新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少に伴い、低い水準にある。

⑤新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少から、EBITDA(減価償却前営業利益)は、平均値を下回っている。

2. 資産等の状況について

企業債の借入れは行っていない。

3. 利用の状況について

稼働率は類似施設と比較して低い数値である。要因として、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低いことが考えられる。

全体総括

新型コロナウイルスの影響があった令和2年度と比較し駐車場の利用者数は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も歳出減の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

福井県鯖江市 鯖江駅東第3駐車場

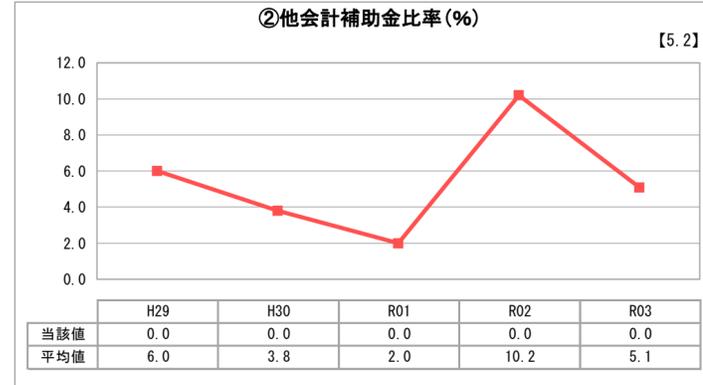
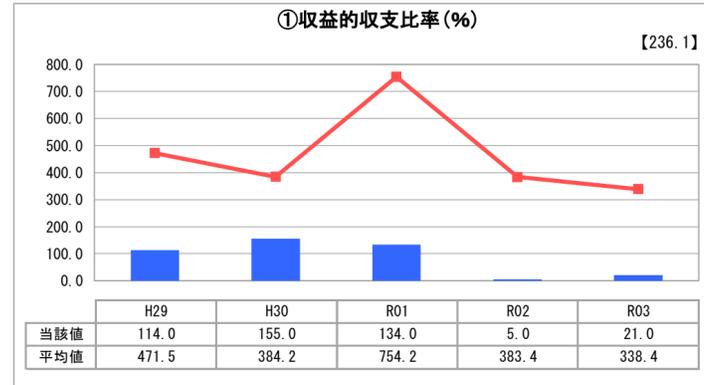
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	924
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
36	300	無

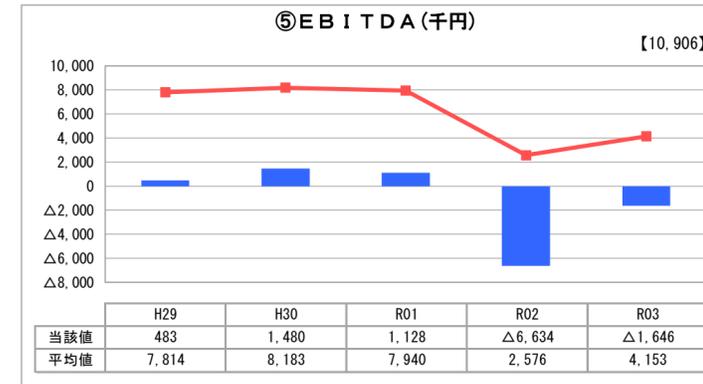
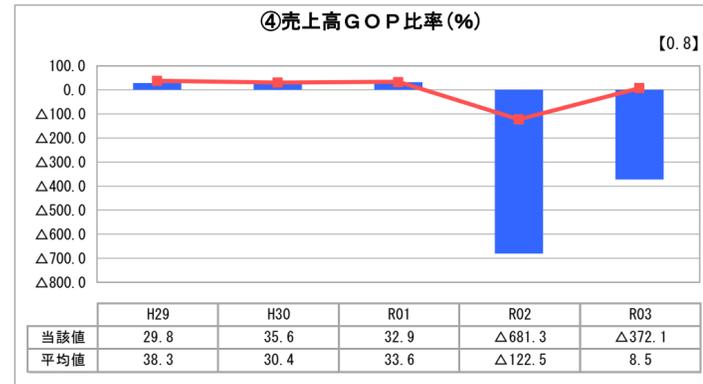
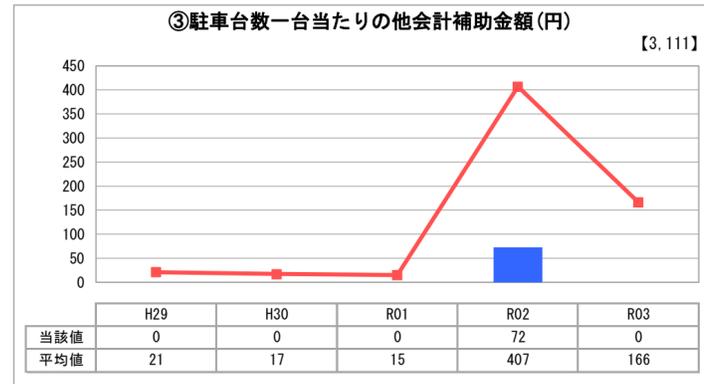
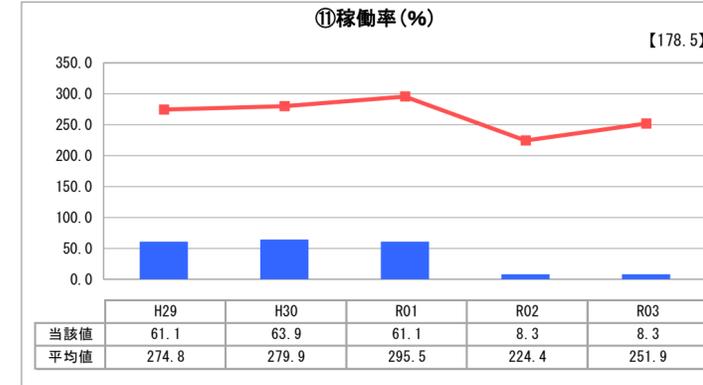
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

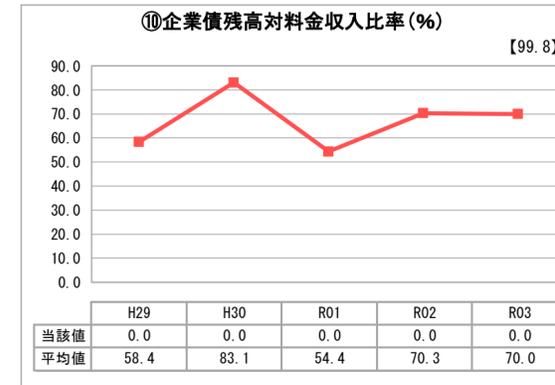


⑦敷地の地価(千円)

24

⑧設備投資見込額(千円)

300



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少から、収益的収支比率は100%を下回り赤字となっている。
 ②③他会計補助は受けていない。
 ④売上高GOP比率は、新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少に伴い、低い水準にある。
 ⑤新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少から、EBITDA(減価償却前営業利益)は、平均値を下回っている。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れは行っていない。

3. 利用の状況について
 稼働率は類似施設と比較して低い数値である。要因として、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く、回転率が低いことが考えられる。

全体総括
 新型コロナウイルスの影響があった令和2年度と比較し駐車場の利用者数は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も歳出減の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。

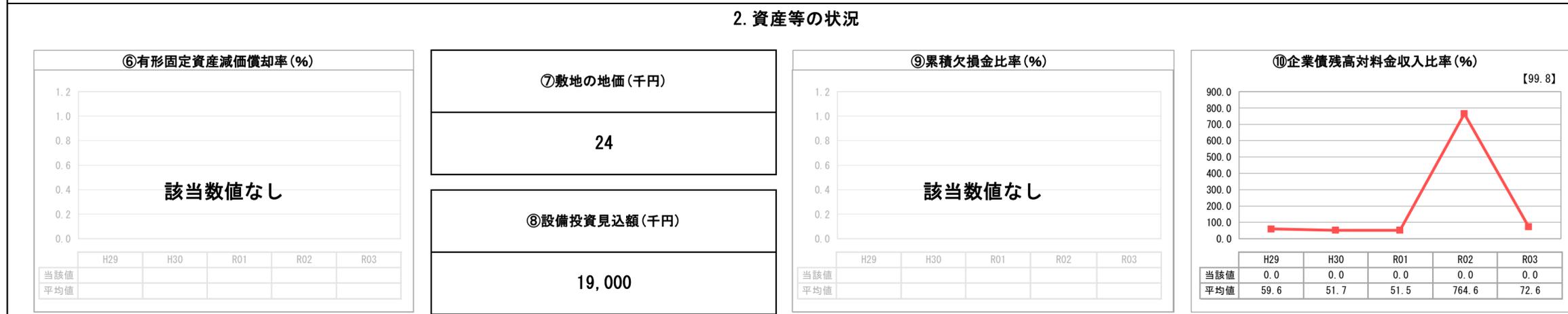
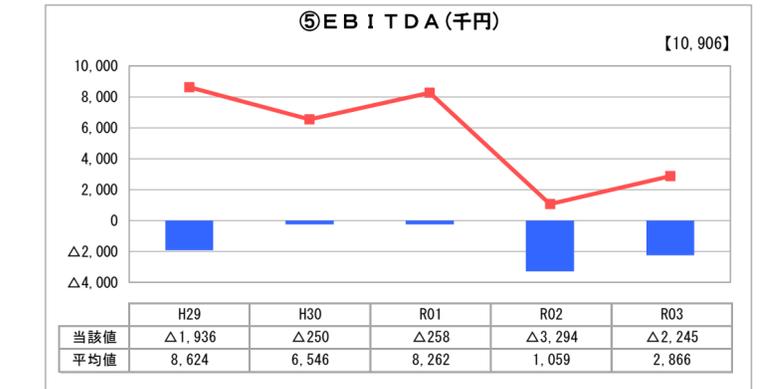
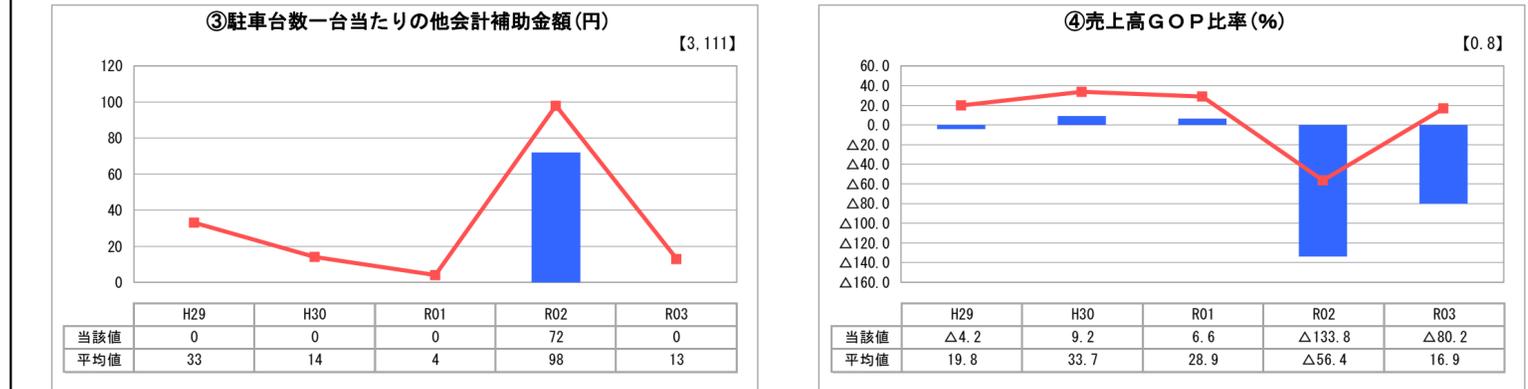
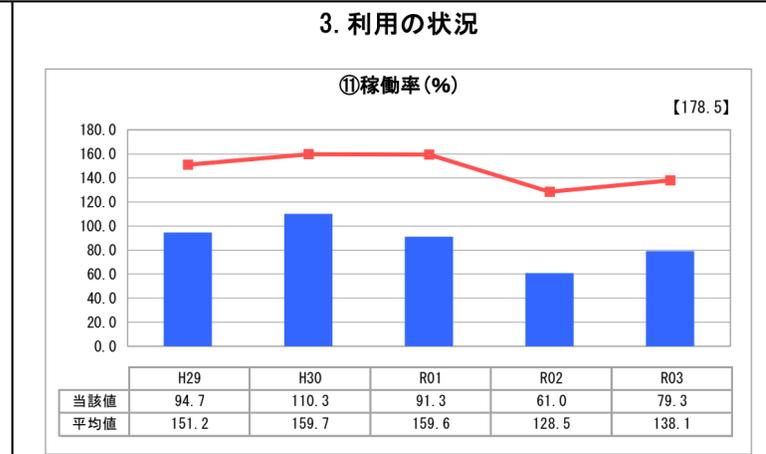
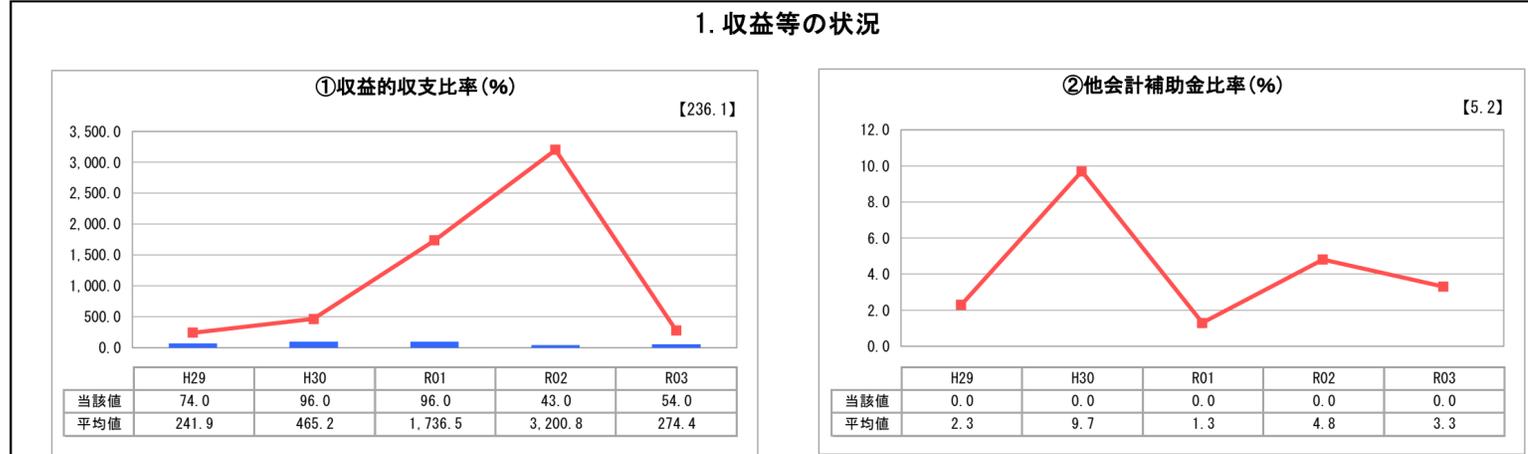
経営比較分析表（令和3年度決算）

福井県鯖江市 文化センター前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	7,953
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
300	300	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①新型コロナウイルスの影響による料金収入の減少のため、収益的収支比率は赤字となっている。
 ②③他会計補助を受けていない。
 ④売上高GOP比率は平均値を下回っている。要因として、新型コロナウイルスの影響により、料金収入が減少したことが考えられる。
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は、類似施設平均値を大きく下回っている。要因として、(1)出入口が3ヶ所あるため、設備の管理費が高いこと(2)4時間の無料時間を設けており、料金収入が低いことが挙げられる。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れは行っていない。
 令和4年度に出入口3箇所のうち2箇所の精算機・発券機等の機器更新を行った。

3. 利用の状況について
 稼働率が低い要因として、(1)総合体育館、陸上競技場、文化施設が隣接し、土日祝日の日中のみ利用が集中するため(2)駅、商店街から遠いため、利用が限られていることが挙げられる。

全体総括
 当駐車場は、総合体育館、陸上競技場、文化施設に隣接する駐車場であり、路上駐車防止や交通渋滞の緩和、イベントの開催など広く市民に利用されている。新型コロナウイルスの影響のあった令和2年度と比較し駐車場の利用者数は徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。今後も歳出減の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。

経営比較分析表（令和3年度決算）

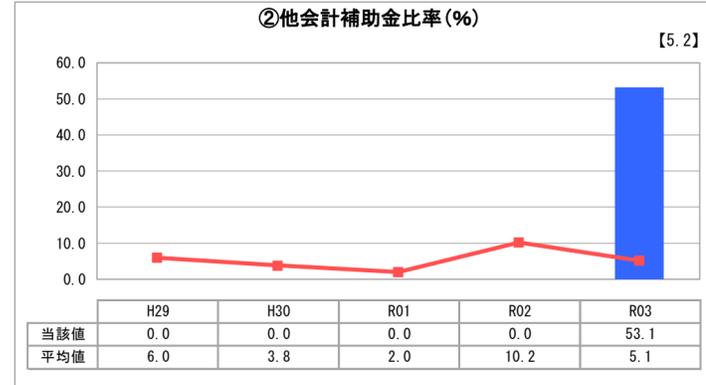
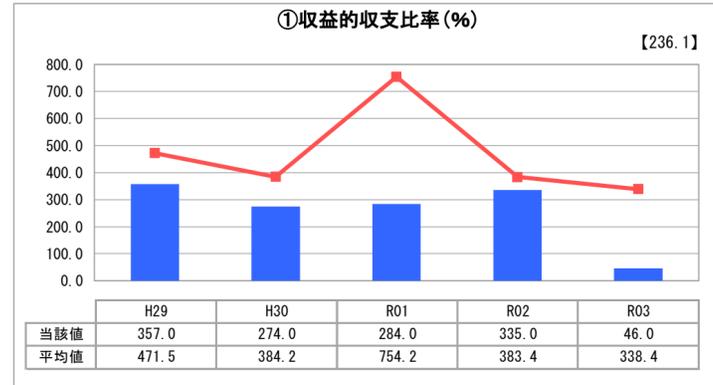
福井県鯖江市 北鯖江駅周辺駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	18	

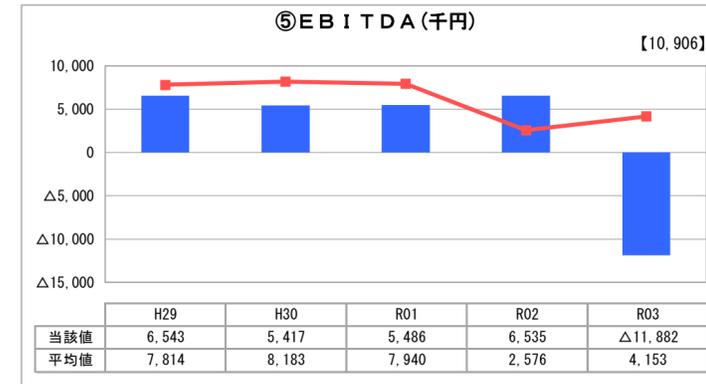
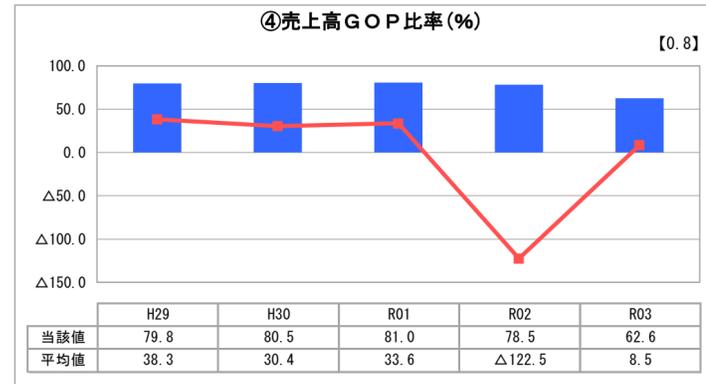
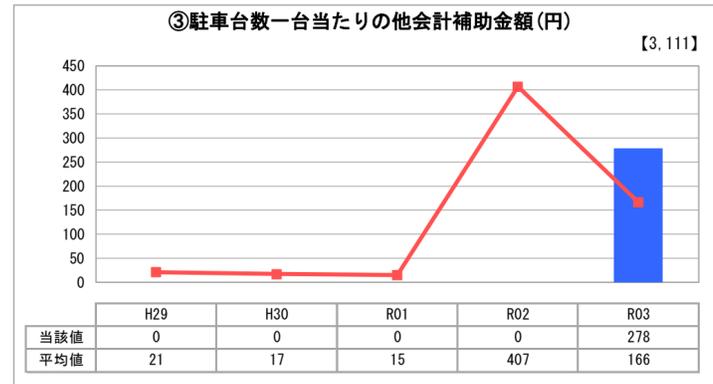
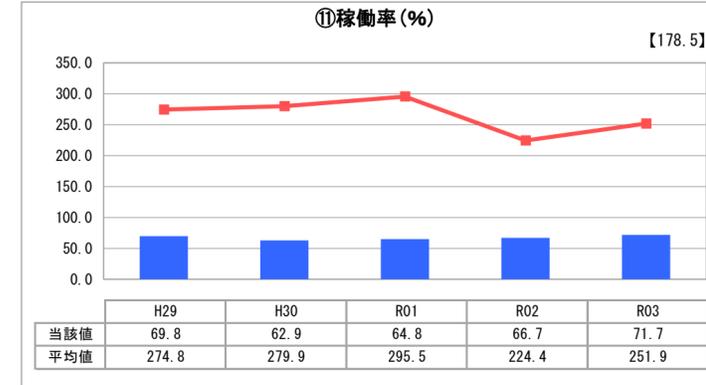
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,823
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
159	300	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

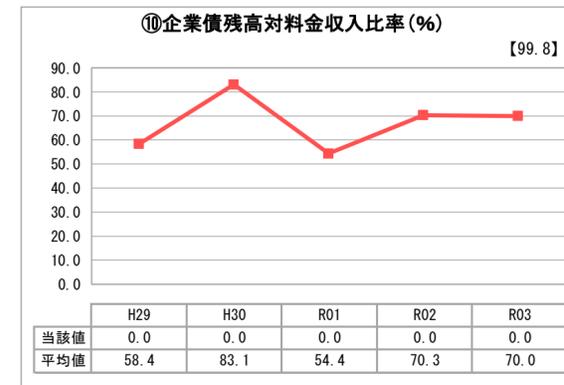
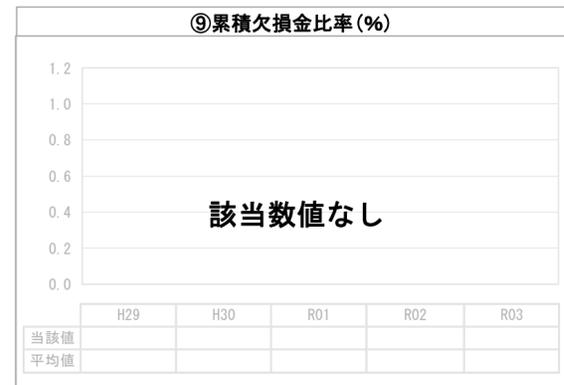


⑦敷地の地価(千円)

12

⑧設備投資見込額(千円)

300



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は100%を下回り赤字となっている。要因として、発券機・精算機等の更新を行ったため歳出が増加した影響と考えられる。
 ②③機器更新を行ったため、歳入を他会計補助で補填した。
 ④売上高GOP比率は、安定した水準となっている。
 ⑤EBITDA(減価償却前営業利益)は、平均値を下回っている。要因として、発券機・精算機等の更新に伴う、歳出の増加と考えられる。

2. 資産等の状況について
 企業債の借入れは行っていない。
 令和3年度に、発券機・精算機・出入庫灯の機器更新を行った。

3. 利用の状況について
 稼働率は類似施設と比較して低い数値である。要因として、パークアンドライド駐車場として通勤者の利用が多いことから、滞在時間が長く回転率が低いためと考えられる。

全体総括
 令和3年度は、機器更新を行った影響から経営は悪化したが、料金収入はコロナ禍以前と変わらない水準を保っている。今後も歳出減等の経営努力を重ね、安定した経営が行えるよう努めていく。